

大腸内視鏡検査を受けられるかたへ

- この検査は肛門から内視鏡を挿入し、大腸の内面を直接観察し大腸の炎症やポリープ、がんの存在や程度を診断する検査です。
- 肛門からさかのぼって盲腸までの大腸と小腸の一部を観察することができます。
- レントゲン検査と違い、直接目で見られるためにより正確な診断ができます。
- 大腸を完全に空にして検査を行います。大腸内に便が残っていると検査ができなかったり、正確な診断が得られないことがあります。

検査の流れ

【検査の前日】（ 月 日）

検査の前日の朝から便の溜まりにくい検査食（ボンコロ食、デリシア食、エコロン食など）に変更し、夜に下剤（ラクソベロン、ベルベロンなど）を1本飲みます。通常、翌朝までに便意が起こり2～3回の排便があります。

【検査当日】（ 月 日）

朝から約2000mlの腸管洗浄液を飲用いただきます。数回の水様便を認め、排液が薄い黄～白色透明になりましたら検査が可能となります。腸管の洗浄液は朝から来院して飲用するか自宅で飲用するかを選択となります。

【検査の前】

- 検査衣に着替えてください（靴下も脱いでください）。
- あわせて内視鏡治療を希望される方は、時計、眼鏡、ネックレスなどをはずしてください。

【検査直前】

検査を楽に受けていただくために、大腸の収縮を弱める薬（鎮痙剤）や鎮痛剤、鎮静剤を注射します。

【検査中】

- 気持ちをゆったりと持ち、深呼吸してください。
 - 体を動かすときは医師の指示に従ってください
 - 痛みがひどいときは医師に知らせてください。
- 検査は、通常20分前後で終了します。ポリープ切除を行った場合はもう少し時間がかかります。

【検査後】

- 検査前にした注射のためにふらつき、眠気、目の調節障害がみられ正確な判断ができなくなることがあります。検査当日は終日車の運転はしないで下さい。歩行にも十分注意してください。
- お腹が張った感じや痛みのある方は、トイレに行ったり、右側を下にして横になったり、腹ばいになったりして、ガスを出すと楽になります。
- 検査後の食事は普通にとってかまいませんが、刺激の強いもの、アルコールは避けてください。
- 帰宅後気分が悪いなど、異常があった場合にはクリニックにご連絡ください。

この検査で期待される結果と限界

この検査にて、がん・ポリープ・潰瘍・炎症など大腸内腔にできた病変を発見・診断することができます。また、確定診断のため必要に応じて病理組織検査（病変の一部を小さく切り取り顕微鏡で診断する検査）を行うことがあります。一方、微小な病変や大腸の影に隠れてしまっている病変は発見が困難な場合があります。

偶発症について

・検査の前日および当日の下剤、腸管洗浄液の飲用により悪心・嘔吐・腹痛・肛門の痛みが起こる場合があります。稀にですが腸管洗浄液の飲用により腸閉塞や腸管穿孔（穴があくこと）が起こることがあります。

・検査中、内視鏡操作により突っ張るような痛みを感じる場合があります。痛みが強い場合には安全のため検査を中止にする場合があります。

・検査中に大腸を広げよく観察するため、内視鏡から空気をいれます。当クリニックでは空気のかわりに二酸化炭素を使用しますが、一過性に腹部膨満感や腹痛、嘔気を生じることがあります。

・大腸の収縮を抑える注射、鎮痛剤・鎮静剤が原因で、ごく稀に気分不快・血圧低下・呼吸困難などアレルギー症状が出現することがあります。

・内視鏡操作や内視鏡治療、病理組織検査により大腸に穿孔を生じたり、多量の出血を生じたりする場合があります。これらの合併症が生じた場合に、緊急処置・入院・手術が必要になることがあります。

・体に負担がかかる検査であり、上記以外に全身状態の良くない方や高齢の方、基礎疾患のある方などにおいて何らかの重篤な偶発症（脳、心臓、肺の障害など）が出現する可能性が皆無ではありません。

・重篤な偶発症の発生頻度、全国的な統計で約0.04%です。なお、これらのうち死に至る重篤な偶発症が0.0008%（12万5000人に1人）発生しております。万が一、重篤な症状を認めた場合は速やかに最適に対応いたします。

検査における注意点

偶発症予防のため下記に該当する方は事前にお申し出下さい。

1. 検査当日、腹痛、嘔吐、腹部膨満などの症状がある方（これらの症状がある場合、腸管洗浄液を飲用できない場合があります。）
2. 薬物アレルギーのある方
3. 妊娠中または妊娠の可能性のある方、授乳中の方
4. 現在治療中の病気のある方、または過去に入院・治療歴のある方
5. 抗凝固剤、抗血小板薬を服用されている方（ワーファリン、バイアスピリン、パナルジン、プレタールなど）

なお鎮痛剤・鎮静剤を使用しますので、検査後しばらくの間ふらつき、眠気、目の調節障害、一時的な物忘れなどが見られることがあります。このため、検査終了後は1時間ほどクリニック内でお休みいただきます。

※ 検査当日は終日事故予防のため車、オートバイ、自転車などご本人が運転することができませんので他の交通機関をご利用ください。もしくはご家族の運転でご来院ください。ご帰宅後も運転を避けてください。また検査後に重要な判断を要する仕事は避けてください。なお、ご高齢の方はできる限りご家族と一緒にご来院ください。

内視鏡検査の費用は生検やポリープ切除などの治療の有無により異なります。健康保険3割負担の方は検査のみの場合1万円～1万5千円程、ポリープ切除を行うと2万円から5万円ほどかかります。病理検査を行った場合、内視鏡検査後10日から14日で結果が出ますので、結果説明のため再度ご来院いただきます。

連絡先

医療法人社団 ゆかり会

幕張胃腸クリニック

TEL 043-441-3393

FAX 043-441-3394